

浅ノ川総合病院 後期研修プログラム

外科

I 研修目標

一般目標

- 1) 外科医として適切な手術を実施できる知識と能力を修得する。
- 2) 外科専門医としての適切な臨床判断能力・問題解決能力を修得する。
- 3) 医の倫理に配慮して、外科診療を行う適切な態度・習慣を身につける。
- 4) 外科学の進歩に合わせた診療を行うため、積極的に学会・研究会へ参加する。
- 5) 日本外科学会専門医の資格を取得する。

到達目標

- 1) 外科診療に必要な基礎知識を習熟し、臨床応用できる。
局所解剖、外科病理学、腫瘍学、病態生理、輸液・輸血、栄養・代謝学、創傷治癒、周術期の管理、麻酔・集中治療、救命・救急医療
- 2) 外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技に習熟し、それらの臨床応用ができる。
超音波診断、X線単純撮影、CT、MRI、上・下部消化管造影、内視鏡検査、輸血、経腸栄養、抗生物質、抗癌剤と放射線療法、デブリードマン、切開・ドレナージ、局所・浸潤麻酔、脊椎麻酔、レスピレータによる呼吸管理、中心静脈カテーテル挿入、気管切開、胸腔ドレナージ、経皮経肝的胆道ドレナージ
- 3) 一定レベルの手術を適切に実施できる能力を修得し、その臨床応用ができる。
開腹・鏡視下手術における鉗子操作、止血操作、縫合操作を修得し、安全・確実にこなせる
- 4) 指導医とコメディカルスタッフと協調・協力してチーム医療を実践することができる。
インフォームド・コンセント、ターミナルケア、研修医や学生の教育指導
- 5) 外科学の進歩に合わせた生涯学習を行う基本を実行できる。
学会・研究会への参加、カンファレンス、症例報告や臨床研究、資料の収集・文献検索や批判的吟味

II 指導プログラム責任者

プログラム責任者

中野達夫 日本外科学会指導医・専門医、
日本消化器外科学会指導医・専門医、
日本消化器病学会専門医、マンモグラフィー読影認定医

指導医

道輪良男 日本外科学会指導医・専門医、日本乳癌学会認定医
日本がん治療認定医機構認定医・暫定教育医、
インフェクションコントロールドクター（ICD）

尾島英介 日本外科学会専門医

III 通常の週間スケジュール

午前8時30分～9時00分： ミーティング・症例検討

曜日	午前	午後
月	病棟回診	手術
火	病棟回診	検査
水	病棟回診	手術
木	病棟回診	術前カンファレンス、検査
金	病棟回診	手術

IV 評価方法

日常の診療態度、手術手技をもとに自己評価と併せて指導医による総合評価を行う。